多項目自動血球分析装置　仕様書

○多項目自動血球分析装置については、以下の要件を満たすこと。

1-1．　測定項目については、血球計数(WBC,RBC,HGB,HCT,MCV,MCH,MCHC,PLT)、白血球分類(NEUT,LYMPH,MONO,EO,BASO#,%)、網状赤血球（RET#,%）、有核赤血球（NRBC#,%）を1台で同時測定できる機能を有すること。またPLTにおいては2法以上の測定法を用いて、より精度の高い測定結果を選択して提供する機能を有すること

1-2．　測定方法として、レーザーによるフローサイトメトリー法を採用していること。

1-3．　ヘモグロビン量の測定においては、シアンなどの毒劇物を含まないこと。

1-4．　オーダー情報をもとに項目選択が1検体毎、血球計数のみ/血球計数+白血球分類/網状赤血球項目をランダムに自動測定できる機能を有すること。

1-5．　処理能力については、分析装置1台あたり血球計数／白血球分類同時測定時で約100テスト以上／時間、網状赤血球測定時は100%オーダーの場合でも約80テスト以上／時間であること。

1-6．　1回の吸引血液量は100μl以下であること。

1-7．　自動再検機能、自動追加再検機能を有すること。

1-8．　データ処理装置の記憶機能は数値データ・スキャッタグラムを含め100,000検体以上であること。複数の操作者が操作することを考慮しメニューは全て日本語対応であること。

1－9．　試薬はバーコードもしくはRFID（無線タグ）にて管理でき、取り付け間違いを防止することが可能であること。残量監視、有効期限監視を行っていること。

1－10．体液測定モードを有しており、試料は脳脊髄液、胸水、腹水、関節液に対応し検体の前処理をすることなく白血球数、赤血球数を測定できること。

1－11．マニュアルモードとサンプラモードを搭載し、測定モード間差がないこと。

1－12．低値白血球測定モードを搭載していること。

1－13．検体ラックは凝固測定装置と兼用できる様10本ラックであること。

○納品に伴い、以下の要件を満たすこと。

2－1．代理店・メーカーによる緊急時の迅速対応が可能なバックアップ体制が整備されていること。

2－2．保守要員が沖縄本島に常駐していること。

2－3．通常の使用条件で故障・不具合を生じた場合は納品後1年間は無償で補償を行う

こと。

２－４．　取扱説明書を２部渡すこと。

２－５．　既存機器の撤去処分を行うこと。